

fsy2025 東京セッション

実務運営マニュアル

全体概要

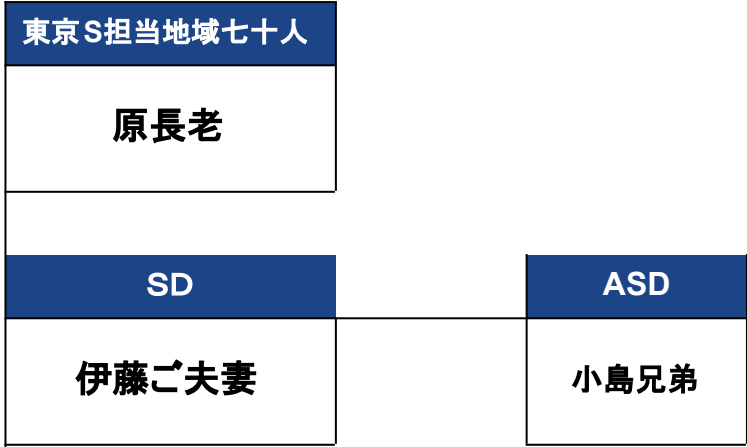
■実施概要

日程	0日目	8月10日(日)	準備日
	1日目	8月11日(月)	受付 12:30～14:00
			プログラム 14:00～20:30
	2日目	8月12日(火)	プログラム 08:30～20:30
	3日目	8月13日(水)	プログラム 08:30～20:30
	4日目	8月14日(木)	プログラム 08:30～20:30
	5日目	8月15日(金)	プログラム 08:30～20:30
	6日目	8月16日(土)	帰宅日
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター		
	〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1		
	TEL:03-3469-2525		
参加人数	青少年:約257名		
	YSA指導者:69名(CO2名、AC10名、CS48名、WC9名)		
	その他 :SD2名、ASD1名、AD・WL5名、YV27名、 技術8名、その他ゲスト教師など数名		

■テーマ・ロゴ

「イエス・キリストを仰ぎ見る」
教義と聖約 6:36



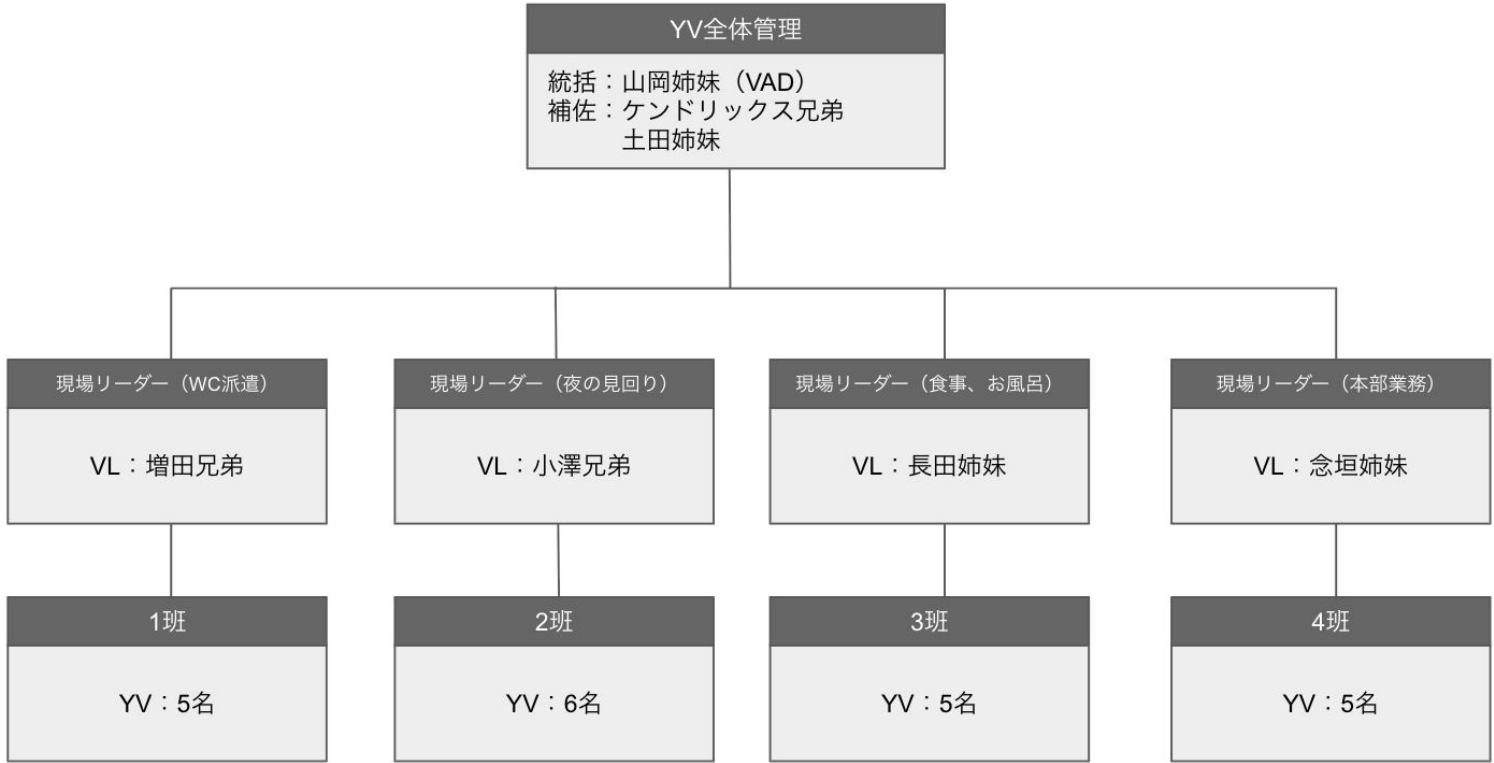


YSA指導者・ウェルネス	実務		
コーディネーター（CO）	全国委員会	実務（施設）AD	資材AD
田中かなたb 日吉あいこs	八木b	楠城b	黒木b
アシスタント コーディネーター （AC）	交通・広報・財務	ボランティアAD	ウェルネスAD
	エリアオフィス ※当日不在・長崎と兼務	山岡s	美上b
カウンセラー （CS）	記録・動画制作	+	+
	フォトグラファー ビデオグラファー	ボランティア リーダー（YV）	ウェルネスリーダー
ウェルネス コーディネーター （WC）	音響・照明・映像	+	+
	技術 ボランティア	YSA ボランティア （YV）	美上s
			ウェルネス ボランティア （WV）

日程	プログラム	担当(敬称略)
1日目	チェックイン	実務
	CS/カンパニーに会う	外村たかと・谷口ゆり
	オリエンテーション	江崎のぞむ・福山ゆき
	夕食	実務
	家庭のタベ	吉留そう・日坂ほのか
2日目	福音学習	山口るか・松原ひかる
	モーニングディボーションナル	外村たかと・谷口ゆり
	クラス(AM)	吉留そう・日坂ほのか
	昼食	実務
	クラス(PM)	吉留そう・日坂ほのか
	自由時間	鈴木たけと・松山みさと
	パナー作成	江崎のぞむ・福山ゆき
	夕食	実務
	ダンス	山口るか・松原ひかる
3日目	福音学習	山口るか・松原ひかる
	モーニングディボーションナル	外村たかと・谷口ゆり
	パナー作成	江崎のぞむ・福山ゆき
	昼食	実務
	クラス(PM)	吉留そう・日坂ほのか
	自由時間	鈴木たけと・松山みさと
	写真撮影	
	夕食	実務
	ゲームナイト	江崎のぞむ・福山ゆき
4日目	福音学習	山口るか・松原ひかる
	モーニングディボーションナル	外村たかと・谷口ゆり
	YMYWの活動	吉留そう・日坂ほのか
	昼食	実務
	バラエティショー	外村たかと・谷口ゆり
	音楽プログラム	鈴木たけと・松山みさと
	夕食	実務
	証会	鈴木たけと・松山みさと
5日目	福音学習	山口るか・松原ひかる
	モーニングディボーションナル	外村たかと・谷口ゆり
	青少年の強さのために	山口るか・松原ひかる
	昼食	実務
	福音に従って生活する	吉留そう・日坂ほのか
	ダンス	山口るか・松原ひかる
	夕食	実務
	家に持ち帰ろう	鈴木たけと・松山みさと

No	区分	役割	カンパニーNo	氏名
01	CO	CO	—	田中 奏太
02				日吉 愛子
03	AC1	AC	—	山口 留加
04				松原 ひかる
05		CS	1	坂本 義志
06				落合 恵真
07				吉岡 真優
08		CS	2	田川 良樹
09				鎌田 さくら
10		CS	3	狩野 衿聖
11				村田 史明
12				橋本 巴
13				松橋 麗
14	AC2	AC	—	谷口 友理
15				外村 崇登
16		CS	4	三上 将
17				中川 美晴
18				志津野 凌優
19		CS	5	大谷 尽
20				中村 美優
21				野出 充哉
22		CS	7	峰岸 陽平
23				生井 紗貴
24				片倉 未園
25	AC3	AC	—	江崎 望
26				福山 友貴
27		CS	11	谷口 裕樹
28				佐藤 涼子
29				大谷 悠慈
30		CS	12	林 豊
31				中川 照美
32				仲梶 紫陽花
33		CS	14	坂井 恵祐
34				八木 玲奈
35				山田 奈々
36		CS	16	美上 航
37				大月 緑
38				柿木 侑磨

No	区分	役割	カンパニーNo	氏名
39	AC4	AC	—	鈴木 雄斗
40				松山 美聖
41		CS	13	青柳 明永
42				高田 希美
43				森村 旺斗
44		CS	9	外村 郁人
45				辻元 れもん
46		CS	10	松原 有希
47				ハルヴォーソン 優貴ロバート
48				菅原 美祈
49	AC5	AC	—	原 真純
50				日坂 萌香
51		CS	6	吉留 爽
52				林 謙治
53				ナシメント チエミ
54		CS	8	高橋 昇吾
55				塩 大佑
56		CS	15	春日 愛結
57				カリブ 直人
58				富田 圭樹
59	ウェルネス	WC コアメンバー	—	江崎 愛里
60				大塚 萌菜
61				福滝 美悠
62		WC	—	佐藤 鳳留
63				松本 恭佳
64				英 すず奈
65				鳥海 都来
66				服部 玲愛
67				美上 董
68				レボイオ 明美花
69				松尾 祈愛



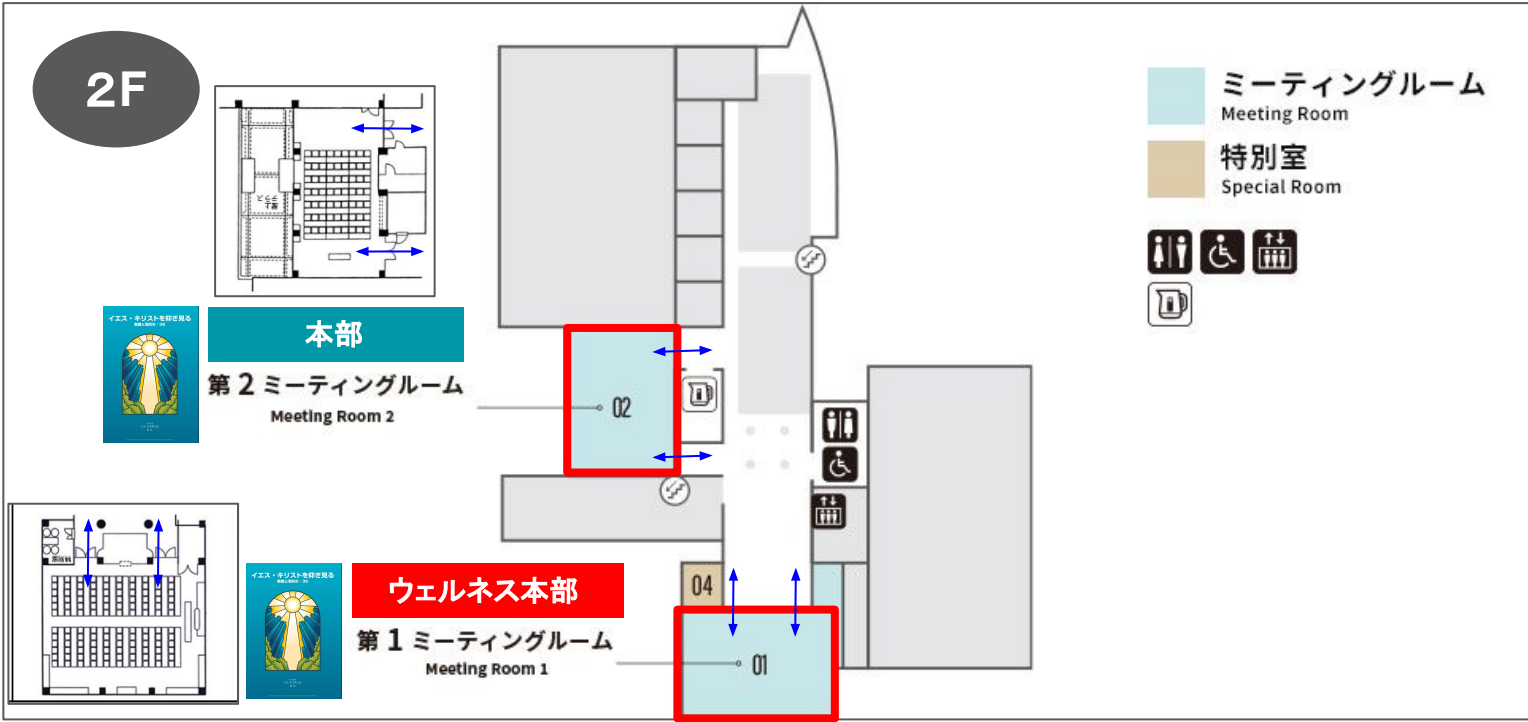
各班は毎日異なる現場リーダーの元をローテーションで周り
その日の現場リーダーの指示に基づいて必要なボランティア業務を行う。

■YSAボランティア名簿

1班	名前	ステーキ・地方部	ユニット	参加日程備考
	松江零	東京西ステーキ	町田	
	杉浦遼光	長野地方部	諏訪	1日目青少年送迎のため中抜け
	高良 美輝	千葉ステーキ	鎌ヶ谷	0日目不在、1日目8:30までに到着予定
	高橋証	仙台ステーキ	山形	0日目不在、1日目青少年引率到着
	長岡蘭	千葉ステーキ	成田	
2班	名前	ステーキ・地方部	ユニット	参加日程備考
	大久保ゆり	東京ステーキ	ひばりヶ丘	0日目18:30までに到着
	堀井世愛	松戸ステーキ	松戸第二	4日目夜まで
	松江美月姫	東京西ステーキ	相模原	0日目不在、1日目から参加
	中川祐亮	新潟地方部	三条	0日目不在、1日目青少年引率到着
	小島ゆり	北海道北ステーキ	新さっぽろ	0日目不在、1日目青少年引率到着
	山野井 栄志	神奈川ステーキ	藤沢	
3班	名前	ステーキ・地方部	ユニット	参加日程備考
	土門由奈	東京ステーキ	ひばりヶ丘	
	川島伶	北海道南ステーキ	帯広	0日目不在、1日目青少年引率到着
	和喜田安里	名古屋東ステーキ	刈谷	0日目不在、1日目青少年引率到着
	川網祐多	盛岡地方部	盛岡	
	野村恵	名古屋東ステーキ	刈谷	0日目不在、1日目青少年引率到着
4班	名前	ステーキ・地方部	ユニット	参加日程備考
	野出穂花	松戸ステーキ	松戸第二	
	新野明啓	神奈川ステーキ	川崎	
	水口慈	金沢ステーキ	高山	1日目青少年送迎のため中抜け
	増田莉加子	東京ステーキ	浦和	
	富樫和奏	桐生ステーキ	高崎	0日目不在、1日目青少年引率到着

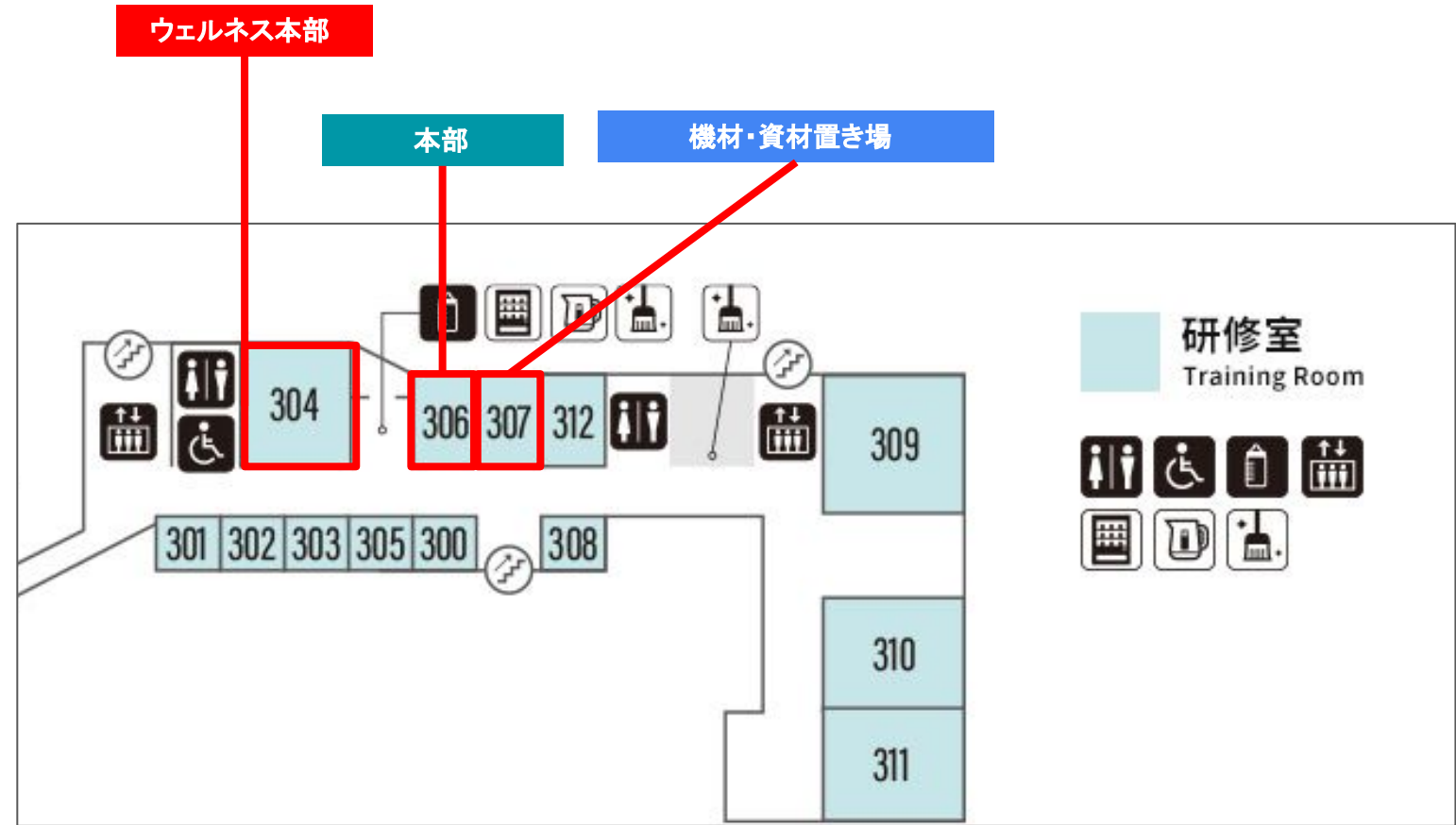
■1日目～4日目 国際交流棟

◆5日目から場所が変わります(予約の都合・次ページ参照)
→そのため4日目18:00～22:00にセンター棟へ引っ越しします



■5日目～6日目 帰宅日 センター棟

- ◆4日目 18:00～22:00に、国際交流棟からセンター棟へ引っ越し
- ◆6日目は施錠時間までに現状復帰・完全撤収



■本部機能について

本部では以下のような用途で用いられます。

- カンパニー、CS以外の方々の食券配布場所(昼食・夕食・翌日の朝食)
- 青少年の途中チェックイン・チェックアウト
- 開催中のスタッフポロシャツの回収・配布
- 控室
- その他雑務

No	テプラ表示名 ※敬称略	1ch	2ch	3ch	4ch
		運営	ウェル ネス	ボラン ティア	予備
1	伊藤彰記	■			
2	伊藤恵美	■			
3	CO田中	■			
4	CO日吉	■			
5	AC1山口	■			
6	AC1松原	■			
7	AC2外村	■			
8	AC2谷口	■			
9	AC3江崎	■			
10	AC3福山	■			
11	AC4鈴木	■			
12	AC4松山	■			
13	AC5吉留	■			
14	AC5松山	■			
15	楠城	■		■	
16	黒木	■			
17	山岡	■		■	
18	富田	■			
19	技術1	■			
20	技術2	■			

No	テプラ表示名 ※敬称略	1ch	2ch	3ch	4ch
		運営	ウェル ネス	ボラン ティア	予備
21	本部		■		
22	美上憲一		■		
23	美上慶子		■		
24	WC佐藤		■		
25	WC鳥海		■		
26	WC服部		■		
27	WC英		■		
28	WC福滝		■		
29	WC松本		■		
30	WC美上董		■		
31	WCLレポイオ		■		
32	WC松尾		■		
33	WV1		■		
34	WV2		■		
35	WV3		■		
36	WV4		■		
37	VL1			■	
38	VL2			■	
39	VL3			■	
40	VL4			■	
41	VL5			■	
42	VL6			■	
43	予備	■			
	小計	21	16	8	0
	合計	45			

共通認識事項

■当日の集合について

- * YSA指導者、YSAボランティア
8月10日(日)14:30集合 ※14:30～受付、15時～聖餐会
- * 実務スタッフ
8月10日(日)14:00集合予定

■持ち物

- * 青少年
[事前のしおり](#)を参照
- * YSA指導者
COより別途指示
- * 実務スタッフ(ボランティア含む)
 - ・6日間の着替え
※STAFFポロシャツ支給あり
※余分にもっておくと良いと思います。
 - ・安息日の服装 ※4日目の服装になります。
 - ・洗面用具、ドライヤー等
 - ・バスタオル
 - ・折り畳み傘
→ゲリラ豪雨が降ったとき用にあると便利です
 - ・電源タップ
→宿泊部屋のコンセントの口が1-2個しかないのであると便利です。
 - ・室内履き
 - ・その他、必要そうなもの
例) フェイスタオル、充電器、虫よけスプレー、日焼け止め、常備薬など



◆当日の服装

日程	YSA指導者・実務	青少年
0日目	私服	—
1日目	STAFFポロシャツ	私服
2日目	STAFFポロシャツ	私服
3日目	STAFFポロシャツ	fsyTシャツ
4日目	安息日の服装	安息日の服装
5日目	STAFFポロシャツ	fsyTシャツ
6日目	私服	私服

◆YSA指導者・実務スタッフ識別

※YSA指導者のポロシャツは1人 **3枚**支給です(ウェルネスは1人 **4枚**支給)

SD&CO
ジャパンプルー



首紐
Process Blue
(スカイブルー)

AC
アーミーグリーン



348 C
(ビリジアン)

CS
ターコイズ



White
(白色)

ウェルネス
レッド



485 C
(赤色)

ボランティア
ダークグレー



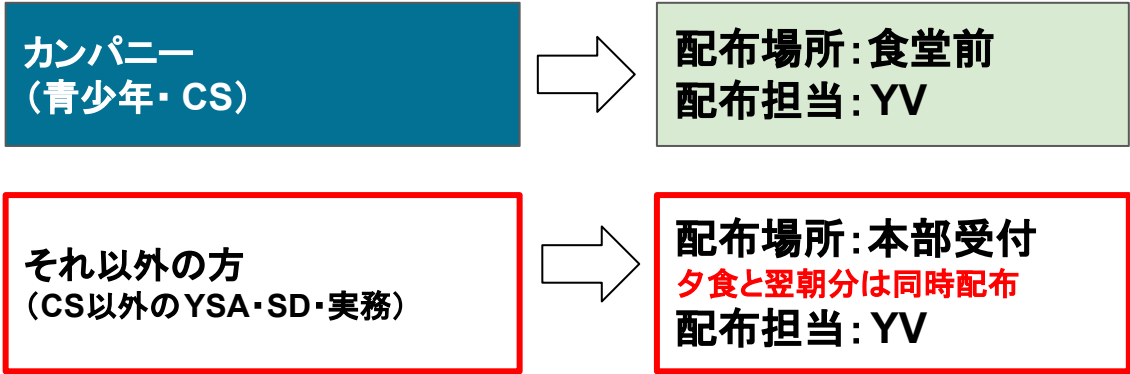
Cool Gray 6 C
(灰色)

■fsv開催中の食事について

* 食堂場所:センター棟2F カフェテリアふじ(食券が必要です)

* 食券配布タイミング

カンパニーとそれ以外の方で、配布場所を別にしているためご注意ください。



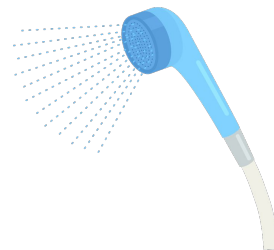
※体調不良などでカンパニーから外れて食事をする青少年の食券は、本部でもらう。
※本部で渡す食券は、要望に応じて複数枚・数日分まとめてお渡しOK

■入浴 通常対応

* プログラム上の入浴時間 20:30～22:00

* 入浴場所

- ・A棟宿泊の方 ➡ 各ユニット内シャワー室(17:00～23:30)
- ・B棟宿泊の方 ➡ 部屋内のシャワー
- ・C棟宿泊の方 ➡ 共有風呂(17:00～23:30)
- ・D棟宿泊の方 ➡ 部屋内のシャワー



※各棟シャンプー・ボディーソープ完備

※D棟宿泊者以外は、バスタオル持参をお願いします。

* 時間管理について

- ・青少年に対して、担当CS・ACでフォローをお願いします。

風呂担当 YVがオペレーションを担当**■入浴 個室対応(担当:YV)**

特別な理由があって個室シャワーに入りたい人は、指定の時間にD棟個室のシャワーに入ることができる

集合場所までの付き添い、解散場所からの迎えはカウンセラーが行う

* **集合**時間 20:30～21:15 D棟交流プラザ(コンビニ前)

* **解散**時間 21:15 D棟交流プラザ(コンビニ前)

■期間中の携帯電話の使用について

* プログラム中

プログラムに関係のある使用目的に限り、使用OKとします。

* 宿泊室

睡眠時間や健康への明らかな悪影響、他人に迷惑をかけない限り制限を設けません。

* 実務スタッフ・YSAボランティアへ

プログラム中の現場で業務をする時など、カンパニーに見える場所にいる場合は、青少年やカウンセラーと同じルールでの行動をお願いします。
業務上必要な場合は使用OKです。



■期間中の写真撮影について

* 撮影NGの時間帯

プログラム中の写真・動画撮影は行わないようにお願いします。



* 撮影OKの時間帯

休憩中、食事中などはスマートフォンによる撮影はOKです。



※ただし、自分以外の参加者および他団体の人が写っている写真を、
本人の許可なくSNSに投稿することは禁止します。

* 実務スタッフ・YSAボランティアへ

携帯電話の使用に関して、もしプログラムの現場に入る時は青少年やカウンセラーと同じルールを適用でお願いします。
※業務上必要な場合は使用OKです。

* 公式の撮影クルーについて

期間中、公式のフォトグラファー・ビデオグラファーが1名ずつ常駐します。
彼らは例外的にプログラム中の写真・動画撮影を行うためその点をご承知おきください。

■期間中のペットボトル水・塩タブレットの配布

各青少年・スタッフ共に1日2本分のペットボトル水を用意しています。
各プログラム会場にてテーブルを用意し、ペットボトル水と塩タブレットを
セットで置いておきます。
そこから各自お取りいただくようお願いします。



■期間中のスタッフポロシャツの洗濯について

- * 回収日**
- 1日目着用分⇒ **2日目10:00までに本部で回収**
 - 2日目着用分⇒ **3日目10:00までに本部で回収**

- * 回収場所:本部**
- ・本部にある「洗濯カゴ」に入れてください。
 - ・可能な限りグループごとでまとめて入れていただけるとよいです。

- * 洗濯予定時間**
- ・2日目10時すぎ～
 - ・3日目10時すぎ～
 - 洗濯は、オリセンC棟のランドリーにてYVが行います。

- * 仕分け**
- ・ACグループごと(サイズ別)に仕分け

- * 洗濯物配布時間**
- ・回収日の翌朝に、ACがピックアップ
 - ・本部にてサイズごとにポロシャツを置いておきます。



注意事項

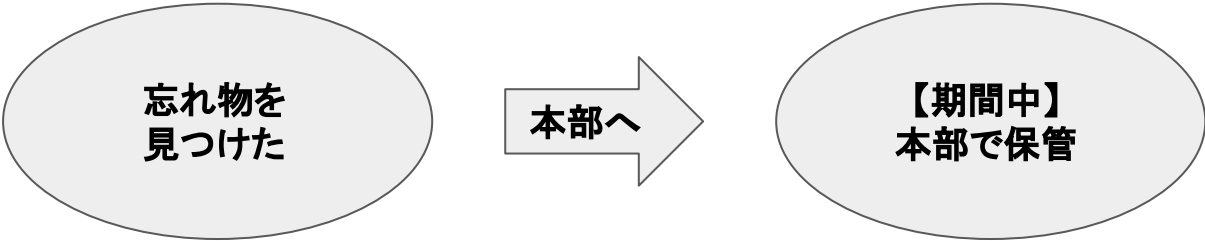
**※ポロシャツのタグに
名前は書かない**

理由:次回以降使いまわすため

fsy終了後、1着だけ持ち帰ることができます。

■期間中の落とし物について

fsy開催期間中の忘れ物は本部で保管します。期間中に取りに来なかった場合は、
破棄させていただくためご注意ください。



■敷地外の出入りについて(日中・深夜)

- ・青少年、YSA指導者の敷地外の出入りは禁止
- ・実務スタッフ(ボランティア)は出入り可能

■夜の見回りについて

- ・各日23:00以降～01:00ごろまでYSAボランティア(男性2名、女性2名)が宿泊棟を見回りに行きます。
- ・指導者の勧告に聞き従わず、夜遅くまで起きていたり、騒音を立てている青少年がいる場合、以下の対応を検討します(指針より抜粋)
 - すぐに静かにしない場合には、保護者とビショップに連絡する旨を青少年に伝える。
 - それでも静かにしない場合は、保護者とビショップに対して速やかに連絡をする。
 - 2夜連続で上記の問題がある場合には、保護者に迎えに来るよう連絡する。

■トラブル発生時の連絡網(インシデント報告の活用)

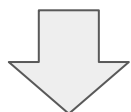
青少年に問題がある場合、カウンセラーはインシデントを報告し、関係者が状況を把握できるようにする。関係者には、カウンセラー、AC、CO、セッションディレクター、またボランティア調整アドミニストレーターが含まれる。報告にはインシデント報告を用いる

YSA指導者、YSAボランティアに問題がある場合にも、周りのYSAは速やかにインシデントを報告し、関係者に問題を知らせる。



①トラブル発生

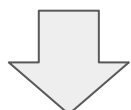
- ・体調不良、付き添いがほしい、帰りたい、など



②フォーム送信(インシデント報告フォーム)

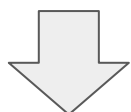
トラブルに直面している指導者は、
「場所」「内容」「深刻度」「宛先」などの情報を入力。
そして送信する。

※深刻度は個人の判断で入力、どちらかというと、詳細を書いていただく方が助かる(深刻かつ急を要する場合は細かく書く必要なし)。



③受信

- ・公式アカウント経由で連絡がくる
- ・該当の関係者は返信対応をする



④対応

- ・依頼内容によっては発信元の場所へ向かい、対応を行う。

帰宅の判断は、ウェルネスアドミニストレーターおよびウェルネスリーダーの助言を得て、セッションディレクターが行う。

- 帰宅が必要であると判断された場合、以下の対応を行う。
 - 保護者への連絡：
 - セッションディレクター、アシスタントセッションディレクター、ウェルネスアドミニストレーターまたはウェルネスリーダーが連絡（順序は対応者の優先順位）
 - 緊急連絡先として登録した電話番号に連絡し、会場までのお迎えが可能か尋ねる
 - ステーク神権指導者への連絡：
 - セッションディレクター、アシスタントセッションディレクター、ウェルネスアドミニストレーターまたはウェルネスリーダーが連絡（順序は対応者の優先順位）
 - 連絡先として登録したLINEまたはメールに報告、ただし帰宅方法について至急相談が必要な場合には電話番号に連絡する
 - ステーク神権指導者への連絡は帰宅となったことに関する報告であり、相談ではない（判断はセッションディレクターと保護者に委ねられている）
 - 交通の手配（新幹線、飛行機が必要な場合）：
 - 交通アドミニストレーター、または現地の YSA ボランティアが手配
 - カウンセラーなどの YSA 指導者への報告
 - ウェルネスコーディネーター、ウェルネスボランティアまたは YSA ボランティアのいずれかがカウンセラーに報告する
 - （帰宅のために駅、空港までの送迎が必要な場合）ボランティアアドミニストレーターへの連絡
 - ウェルネスリーダーまたはウェルネスコーディネーターがボランティアアドミニストレーターに連絡し、駅または空港まで送り届けるためのボランティアを配置できるか相談する
- 帰宅手段は、原則として保護者が迎えに来ることが求められている（申込フォームでその旨について同意することが求められている）。ただし、遠方から来ている青少年については、迎えに来ることが難しい場合があると想定しておく。帰宅の交通手段は以下の順番で検討する。
 - 保護者が迎えに来る
 - 地元の青少年指導者が迎えに来る
 - （会場に青少年指導者がいる場合）会場にいる青少年指導者が地元まで送り届ける
 - YSA ボランティアが青少年を送り届ける
 - 新幹線・飛行機を利用する場合
 - 青少年が高校生以上で一人での移動が可能と判断される場合に限り、YSA ボランティアの一人または二人が最寄りの新幹線駅、または空港まで送り、そこから青少年が新幹線・飛行機に一人で乗ることが認められる。到着の駅・空港で保護者または地元の青少年指導者が引き取る。ただし、事前に保護者の許可が必要となる。
 - 青少年が中学生、または一人での移動が困難な場合には、YSA ボランティアの一人または二人が青少年と一緒に新幹線・飛行機に乗り、地元の駅・空港まで送り届ける。
 - 新幹線・飛行機を利用しない場合
 - レンタカーまたは公共交通機関を用いて、YSA ボランティアの一人か二人が青少年を地元まで送り届ける。

※交通ADは当日現地にいないため、電話にて相談

予期せぬ災害時には、現場のFSY指導者の指示に従うことが求められる。以下に一般的な指針を示すが、現場の判断が優先される。

- **青少年・YSAの安否確認**：参加している青少年・YSAの安否確認を行う。青少年はカウンセラーが確認を行い、AC、CO、SDの経路で報告する。実務スタッフについては、実務アドミニストレーターが確認を行う。
- **施設スタッフの指示に従う**：原則として、災害時には施設スタッフの指示に従って行動する。なお、火災や地震などの避難場所を事前に確認しておき、オリエンテーションで案内する。
- **FSY全国委員会、神権指導者への連絡**：災害時には、FSY指導者はFSY全国委員会に連絡をする。FSY全国委員会は、地元の神権指導者（地域七十人）および地域会長会に連絡をし、セッションの中止、続行の判断を求める。
- **保護者への連絡**：現場の状況について確認し、セッションディレクターは青少年保護者に対して一斉メールにて連絡をする。この際、セッションの中止・続行、および帰宅の判断については、神権指導者の判断を仰いでいる旨を説明する。なお、保護者が青少年の帰宅を要請する場合、その要請に従い、交通アドミニストレーターまたはボランティア調整アドミニストレーターは青少年の帰宅手配を行う。この場合の交通費はFSY予算で負担する（青少年・保護者の自己負担ではない）。
- **地元の指導者への連絡**：セッションディレクターは、地元のビショップ・支部会長、ステーク・地方部会長に宛てて、状況を説明するメールを送信する。内容は保護者に送るものと同様である。
- **セッションを中止する場合**：安全に帰宅することができる青少年とYSAは帰宅する。ただし、交通アドミニストレーターが一度に全員の交通手配をすることが難しいと考えられるため、安全に問題がなければ、数日、または最終日まで会場に留まることができるか施設スタッフと相談する。

FSY会場において、全ての成人は「子どもと青少年を守る」の指針に従うよう求められる。「子どもと青少年を守る」の指針を拡大解釈することがないよう、また具体的な例を示すため、全国委員会として以下の指針を提示する。セッションディレクターとコーディネーターは本内容を良く検討し、FSY会場にいる全てのYSA、その他の成人指導者が効率よく役割を果たすことができるよう調整を図るよう求められる。(下に記載する「成人」には YSA指導者、YSAボランティア、セッションディレクター、実務関係者、および全ての成人が含まれる)

● 常に二人の成人が付き添う必要があるわけではない :

手引きには「子供、青少年およびヤングシングルアダルトが出席するすべての教会主催の活動には、少なくとも二人の成人の監督者がいるようにしなければならない。」と記載がある。活動単位では二人の監督者が必要であるが、活動内の個別の活動や場面を切り取る時に、上記の指針が一様に当てはまるものではない。多くの場面において、「成人1名が付き添うことで充分」である。以下の状況では成人1名の付き添いで充分であり、2名以上の付き添いは必ずしも必須ではない。

- a. 成人1名＋男女混合の青少年を含むカンパニー(または複数の青少年)
- b. 成人1名＋成人と同性の青少年のカンパニー(または複数の青少年)
- c. 成人1名＋成人と異性の青少年のカンパニー(または複数の青少年)

● 青少年が活動場所から一時的に離れる場合 :

正当と認められる理由で、青少年が一時的に活動場所やカンパニーから離れることがある。この際、会場の建物から青少年が一人で抜け出すことを防ぐことができるようであれば(出口に指導者が待機している、脱走経路がない、など)、YSAカウンセラーやその他の成人が付き添う必要はない。これには以下のような場面が含まれる。

- a. 活動中にお手洗いに行く
- b. 別室に忘れ物を取りに行く、など

- ・基本的にCSの判断に任せる
- ◇ ・YVは、会場外の監視スタッフは置かない
- ・トイレは適宜WCが見回りでチェックしてくださる

なお、時間が経っても青少年が戻らない場合、YSAカウンセラーまたはその他の成人が青少年の様子を見に行く。また、上記の場面であっても、以下のリスクがあると思われる場合には、青少年が一人で行動することは認められない。

- c. これまでの様子から、脱走を試みる可能性が高い
- d. 青少年が体調不良や精神的な問題を訴え、無事に戻ってこれるか不明である

● **青少年と指導者が 1対1になる場合：**

「子どもと青少年を守る」の指針で示されているように、可能な限り、青少年と指導者が 1対1の状況になるのは避けるべきである。しかし、急を要する理由のために、やむを得ず青少年と指導者が 1対1になる場合がある。以下の全ての条件を満たした場合には、青少年と 1対1の状況に留まることができる。

- a. 正当な理由がある(体調不良、緊急時の移動、など)
- b. 付き添う成人は速やかにセッションディレクターに「場所」、「青少年の名前」、「理由」をセッションディレクター、またはコーディネーターに伝える(付き添う相手が異性の場合、可能な限り、セッションディレクターから事前に「承認」を得る)
- c. 人目のある場所に留まる(体調不良などのため部屋で休む場合を除く)
- d. 1対1の状況が1時間を超えない
 - i. 同性の場合、1時間を超える場合には、別途、セッションディレクターの許可を得る
 - ii. 異性の場合、如何なる理由があっても、1時間を超えることは認められない(緊急時を除く)
- e. 1対1の場面が長時間になる恐れがある場合、通信機器(携帯、トランシーバーなど)を用いて、1対1の場所の音声や画像を本部にいる指導者が把握できる

また、会場内の人目がある場所に限り、短時間(目安として 10分以内)の移動であれば、成人一人が青少年一人の移動に付き添うことができる。これには以下の例が含まれる。

- a. 一人の青少年を活動場所からお手洗いに届ける際に一人の YSAが付き添う
- b. 一人の青少年を食堂から活動場所送り届ける際に一人の YSAが付き添う
- c. 一人の青少年を宿泊棟から個室シャワー場所に届ける際に一人の YSAが付き添う

● **YSAが青少年に付き添う必要がない状況：**

FSY期間中、多くの場面で青少年には YSAが付き添うことが求められているが、付き添いが必要ない活動、時間帯がある。以下に例を示すが、これらの場面以外にもセッションディレクターの判断で対象範囲を広げることができる。

- a. 自由時間
- b. お風呂・シャワーの時間
- c. 一日のプログラム終了後に宿泊棟で過ごす時間(ただし正当な理由で宿泊棟から出る場合には付き添いが必要)

朝起きることができない青少年について

朝起きることができない青少年について、カウンセラーは「体調不良」、「精神的問題」、または「起立性調節障害」等によるものか判断する。

体調不良である場合、速やかにウェルネスコーディネーターに連絡し、対応を任せる。ウェルネスコーディネーターは、可能であれば青少年を救護室に連れて行く。

精神的問題である場合、カウンセラーはウェルネスコーディネーター、またはボランティア調整アドミニストレーターに連絡し、青少年をクールダウンスペースに連れていくよう依頼する。

青少年が部屋から出て来ない、声をかけても起きない場合には、ウェルネスコーディネーターまたは YSAボランティアは以下の対応を行う。

- 青少年を部屋に残し、以下の点について伝えておく(個室から出てこない、反応がない場合のために、プリントを置いてくることも検討する)。
 - 45-60分おきにYSAボランティア、またはウェルネスチームの 1名が様子を見に来る。起きることができていたら、一緒に活動場所に連れて行く。
 - 青少年が自分で起きたら、一人で救護室(ウェルネスチーム)に来て、そこからボランティアと一緒に活動場所に向かう。
- 青少年のカウンセラーに連絡をし、状況を伝えておく。
- ウェルネス本部、ボランティア調整アドミニストレーターは、起きてこない青少年それぞれの状況を逐次確認する。
- **特別な理由がない限り、指導者やボランティアが青少年の宿泊部屋の前でずっと待機することはしない。**
- 2日間連続で同様の問題がある場合には、ウェルネスアドミニストレーター・コーディネーターは青少年と話し、ウェルネスチームから保護者に連絡して対応を相談して良いか、青少年に尋ねる。

施設関連

■ **飲食可能場所**

すべての宿泊室・研修室が原則として飲食NG ですが、
以下の場所は飲食が可能です

＜飲食可能エリア＞

- ・国際交流棟：交流プラザ、レセプションホールなど
- ・カルチャー棟：小ホール楽屋、2Fイートインスペース
- ・外：中央広場

■ **片付け**

- ・センター棟 **原状復帰必須**
- ・国際交流棟 原状復帰不要だが、
会場備品はひとつの場所にまとめておく

■ **セッションで出たゴミの処理**

- ・活動などで持ち込んだ資材や大量のゴミは、セッションで持ち帰る

■ **宿泊室・談話コーナーの清掃・整頓について(ABC棟)**

● **宿泊室の清掃・整頓**

利用された宿泊室(A,B,C各宿泊棟)の清掃はセルフサービスです。

利用最終日及び部屋移動の朝に「宿泊室利用確認カード」、「インフォメーション」を参考に、清掃・整頓を必ず行ってください。

● **談話コーナー**

利用の都度、必ず清掃・整頓を行ってください。

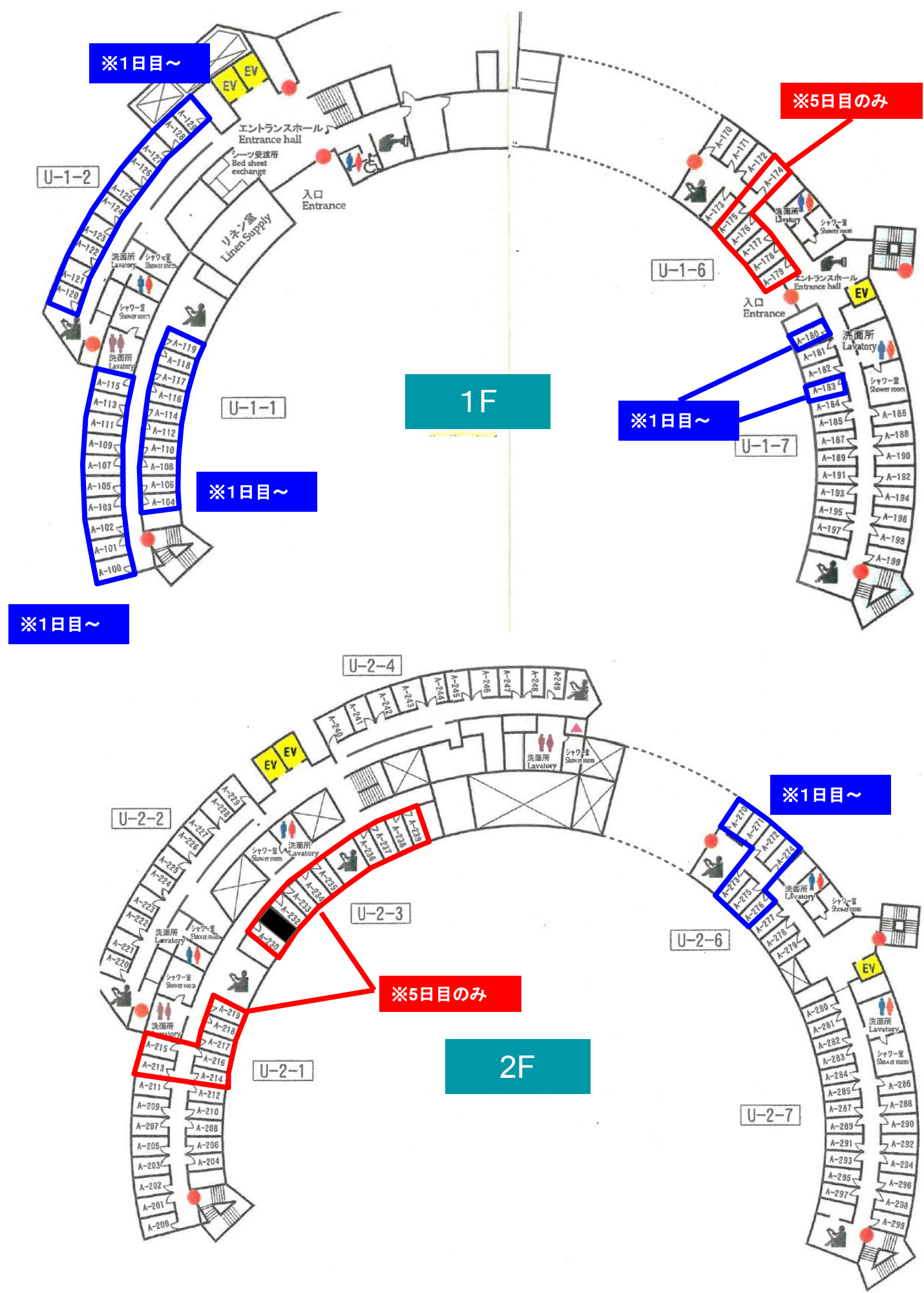
深夜のご利用は他団体の迷惑になりますのでご遠慮ください。

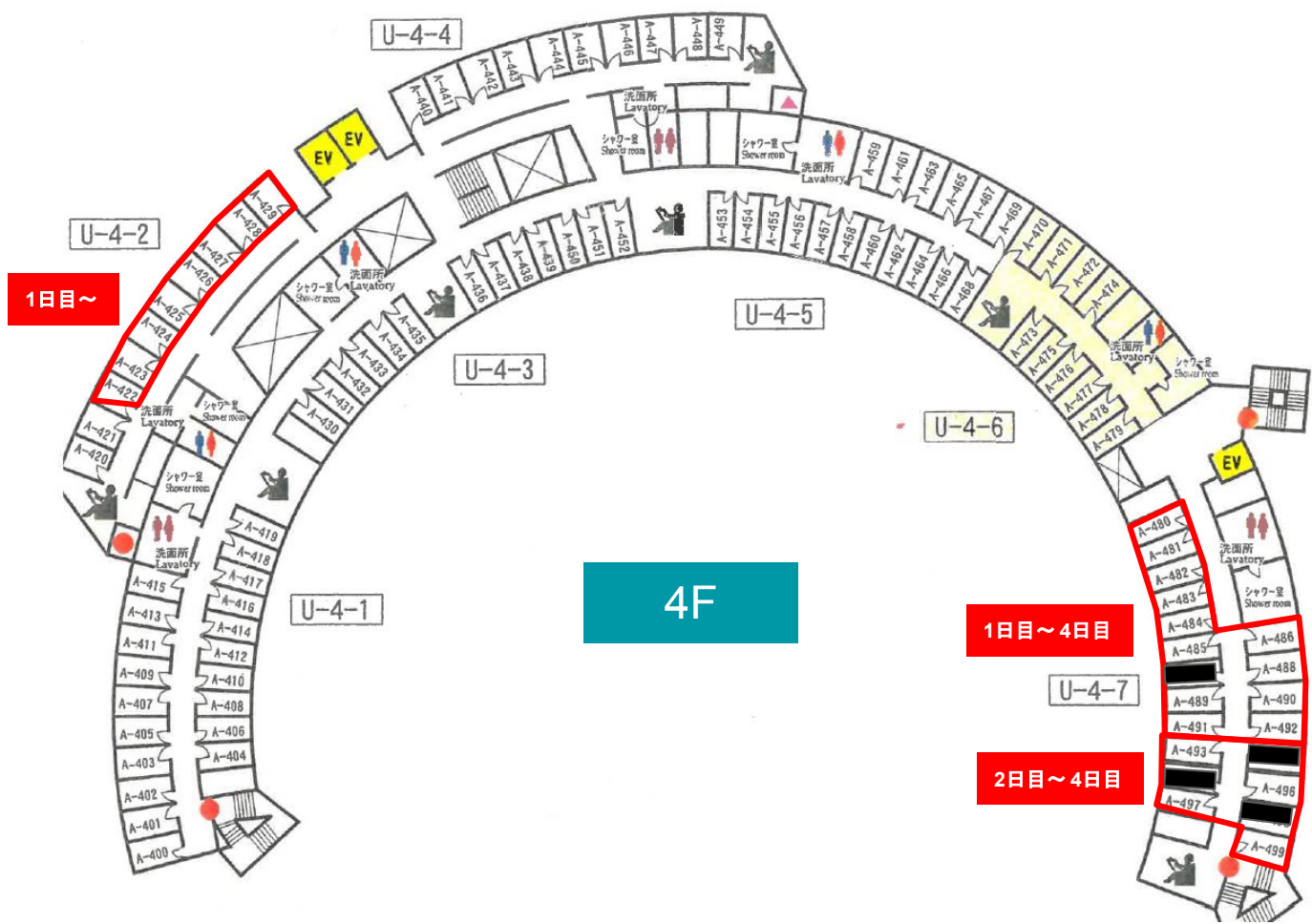
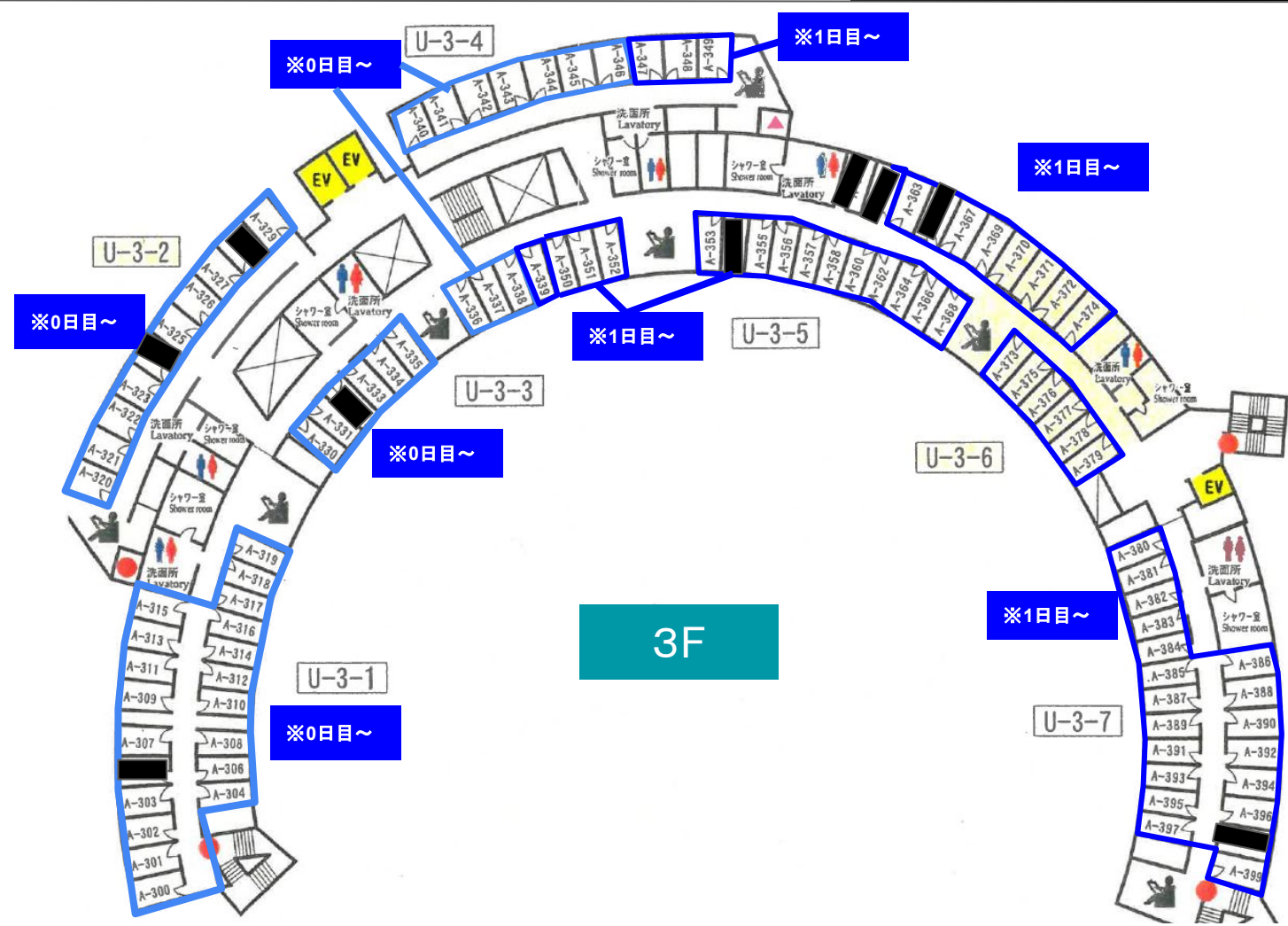
■ **門限・深夜の出入りについて**

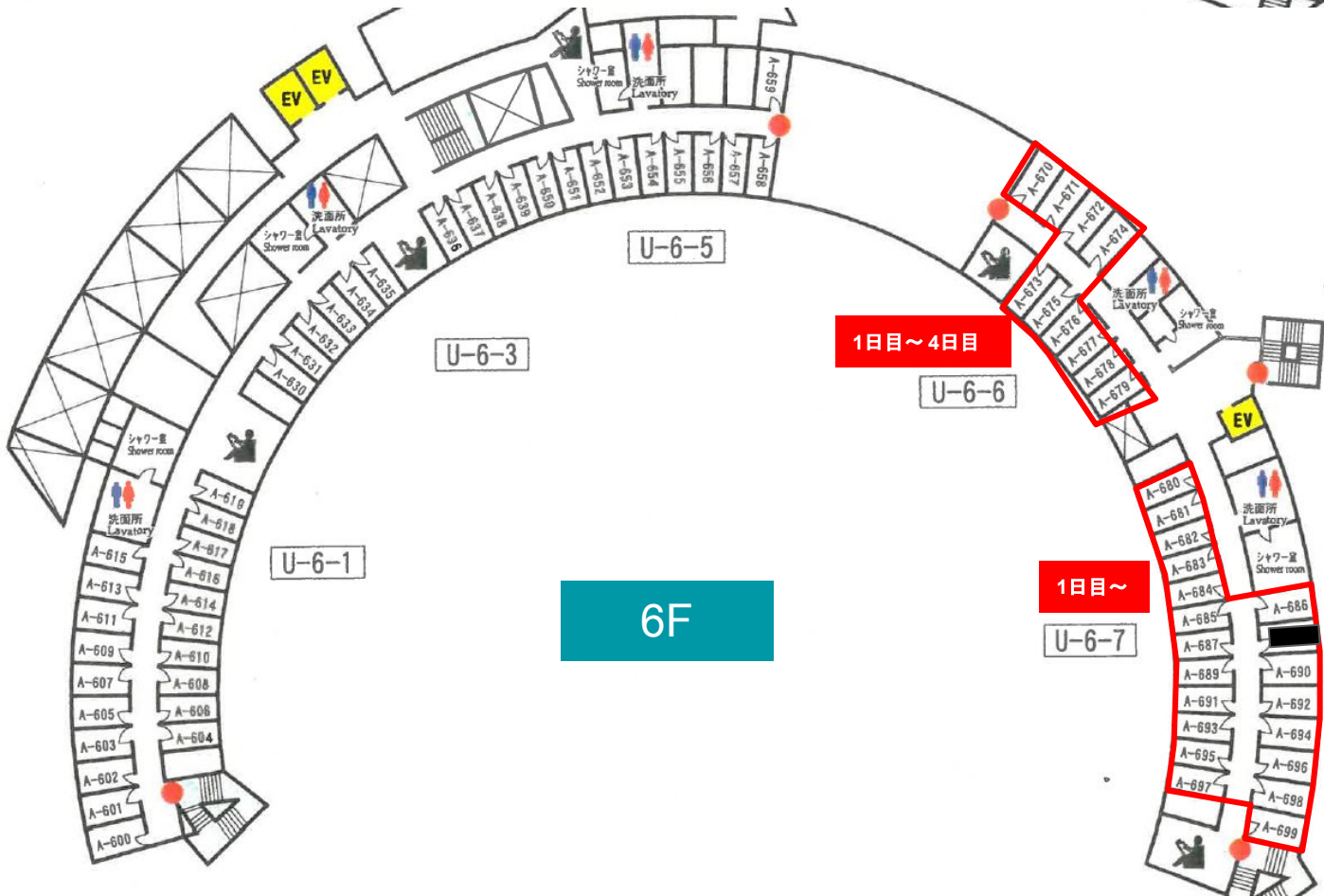
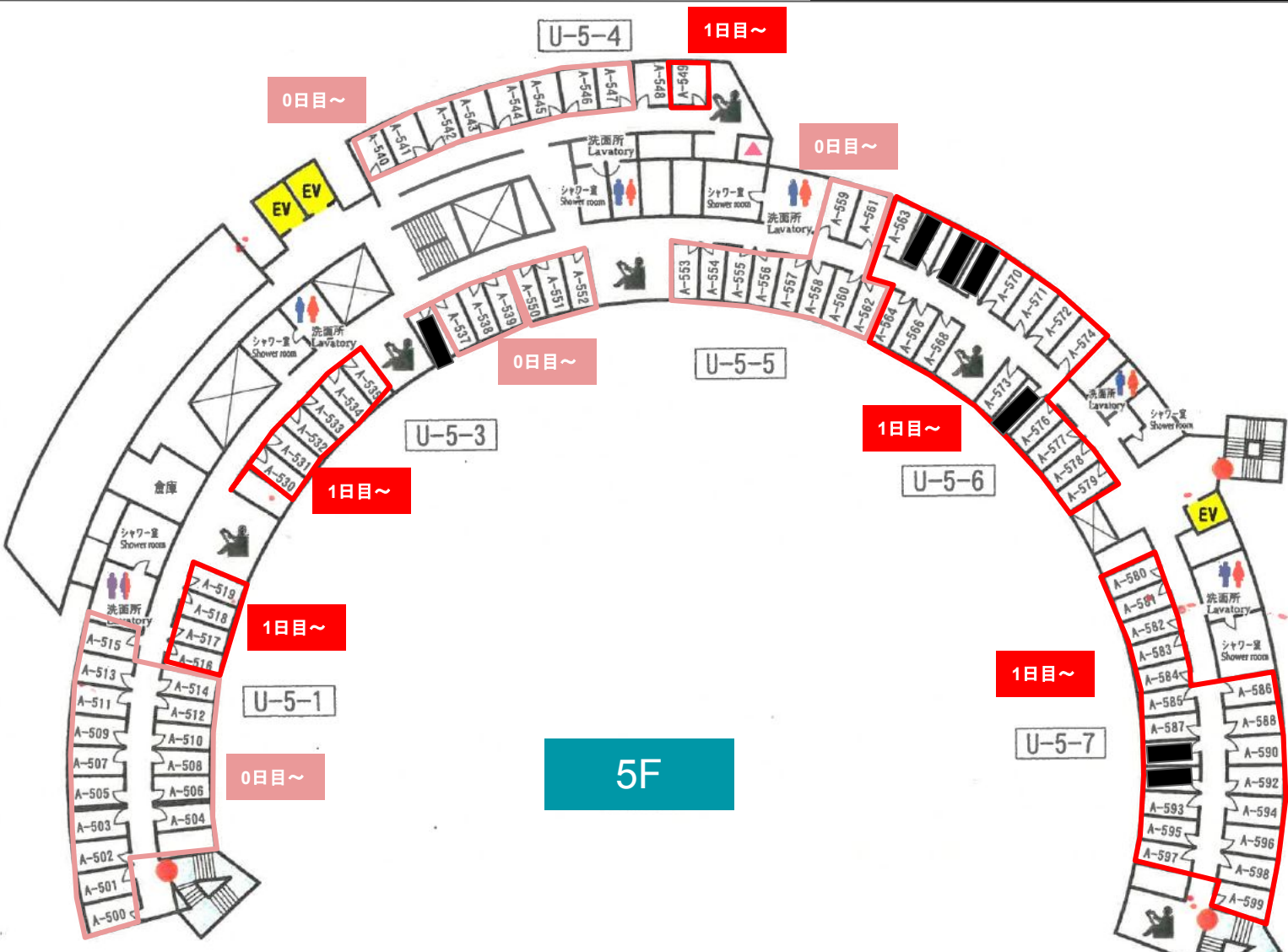
● **門限**

門限は利用団体の活動内容に応じて自主的に定めてください。深夜の出入りは、他団体や近隣町内の迷惑になりますので、ご遠慮ください。

宿泊部屋







B棟平面図
Building B Floor Plan

